

名前 _____

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック		
	43回	44回	45回
① 確認テスト復習用を解く			
② [43・44回]宿題用テキストの穴埋め教科書に取り組む [45回]授業用で扱った問題について見直す			
③ 宿題用テキストの基本問題AとBを解く			
④ 合格授業・公民 ^⑤ の該当回を読む			

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック		
① 宿題用テキストの練習問題A(45回は練習問題)を解く			
② [45回]授業用テキストで扱わなかった問題を解く			

発展メニュー (☆) …チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック		
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く(43・44回)			
② 合格授業・公民 ^⑤ を読み進める			

担当より一言

歴史分野が終わり、いよいよ公民分野に入りました。まさに今起こっている世の中の動きを理解するうえで不可欠な分野です。授業では積極的に現代社会のできごと(ニュース・時事問題)をふまえて進めていきます。

公民分野は、用語の難しさが学ぶ上での壁となることがあります。そのため、授業は楽しむ部分と覚える部分のバランスをとりつつ、「分からない言葉をなくす」ことに意識を向けていきます。「分からない言葉が出てきたらやさしい言葉に置き換える」が基本です。たとえば「^{ひめん}罷免」ですが、これは「辞めさせること」です。こういうメモを取っていけるかが公民分野を得意としていくための一つの鍵となるでしょう。また「漢字から想像する」ことも大切です。言われたことを写すだけでなく、自分から意味を考えていくことにもチャレンジしてほしいです。

新しい分野に入ることから、基本メニュー(☆☆☆)は必ず取り組みましょう。合格授業を読むことで、授業の内容を振り返ることもできますので、復習の際にぜひ活用してください。

※このほか、「5年冬期宿題教材(理科・社会)」があります。社会については、これまで学習してきた歴史分野の総復習となります。冬休みの間に終わらせられるように計画を立てて取り組んでください。

※毎回、前回内容の確認テストを行います。

出題範囲は、これまでと同様に前回授業の内容(原則、宿題用テキストの基本問題A・B)からとなります。基本問題A・Bは、一回解いて終わりにするのではなく、間違えた問題を中心に、できるようになるまで繰り返し行ったうえで、確認テストに臨みましょう。第43回は前の回の「外交史(2)」全般からの出題となります。

※解答の訂正について

第43回宿題用の解答に誤りがありました。申し訳ございません。以下の通り、訂正させていただきます。

- 宿題用解答 p.1 第43回 練習問題B ①問5(1) 「象徴」が正解
→「漢字2字で答えなさい」という問題で、解答が文になっておりました。